

【山崎主宰の俳句】

ふわりぶかり

山崎 聰

雪降りやまず一本ポプラの憂鬱
円周を見つめておれば春の水
三月がぼかんと立ってあまたの死
日脚伸ぶアメーバのように日脚伸ぶ
遠国へ逃げたし蕨餅食いたし
戦前といえば不忍のかいつぶり
一春灯ひとりるときをひとりでいて
春は来にけりピカソの絵皿にピカソ
ねむる木のまわりもねむり春耕す
あいつがぶらりかいつぶりふわりぶかり